

# 2021年度（2022年3月卒業生） 新卒視能訓練士就業状況調査 調査結果

調査目的：今後ますます増加する視能訓練士の就業状況を把握する。

対象：2021年4月現在日本国内に存在し2022年3月に卒業生を輩出した視能訓練士養成施設27校  
（大学9校・短期大学1校・専門学校17校）に対しアンケート調査を依頼。対象者数は国家試験合格者の745名（前年762名）。

施設区分	養成校区分 就職先区分	性別	大学 9校			短期大学 1校			専門学校 16校			合計 26校				前年26校 との比較		区分 比率	前年度 比
			女性	男性	合計	女性	男性	合計	女性	男性	合計	女性	男性	人数	比率%	増減 数	比率%		
国 公立系 医療 機関	1. 国立高度専門医療センター (ナショナルセンター)	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0.1%	1	0.1%	11.4%	1.8%
	2. 国立大学法人	21	1	22	1	0	1	9	1	10	31	2	33	4.5%	6	0.9%			
	3. 独立行政法人国立病院機構	2	0	2	0	0	0	2	0	2	4	0	4	0.5%	2	0.2%			
	4. 公立医療機関 (都道府県市町村の病院及 び診療所)	9	1	10	0	1	1	11	2	13	20	4	24	3.2%	6	0.8%			
	5. その他国立系の病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0.0%			
	6. 公立大学病院	2	0	2	0	0	0	2	0	2	4	0	4	0.5%	▲6	▲0.8%			
	7. 公立に準ずる病院及び診 療所	12	2	14	0	0	0	4	0	4	16	2	18	2.4%	4	0.5%			
	①小計	47	4	51	1	1	2	28	3	31	76	8	84		12				
全体に占める割合	6.5%			0.3%			4.0%			9.7%	1.0%		11.4%		1.8%				
私 立系 医 療 機 関	8. 私立大学病院	22	7	29	0	0	0	6	0	6	28	7	35	4.7%	▲3	▲0.4%	84.2%	▲0.1%	
	9. 私立病院 (他科もある病院の眼科)	28	3	31	4	0	4	28	5	33	60	8	68	9.2%	8	1.2%			
	10. 私立眼科病院	18	2	20	0	0	0	14	2	16	32	4	36	4.9%	▲3	▲0.3%			
	11. 眼科診療所 (医療法人及び個人)	133	18	151	18	0	18	292	22	314	443	40	483	65.3%	▲8	▲0.2%			
	12. レーシックセンター (レーシックを主にしている 眼科診療所)	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0.1%	▲3	▲0.4%			
	②小計	201	30	231	23	0	23	340	29	369	564	59	623		▲9				
全体に占める割合	31.2%			3.1%			49.9%			46.2%	8.0%		84.2%		▲0.1%				
そ の 他	13. 視能訓練士の学校または 養成所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	▲3	▲0.3%	4.5%	▲1.6%	
	14. 大学院	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0.1%	▲2	0.3%			
	15. 福祉関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	▲1	▲0.1%			
	16. 病院・医院以外の医療関 係企業	1	2	3	0	0	0	2	1	3	3	3	6	0.8%	2	0.3%			
	17. 医療関係以外の職業	3	2	5	0	0	0	1	0	1	4	2	6	0.8%	▲9	▲1.2%			
	18. 就職せず	6	2	8	0	0	0	10	1	11	16	3	19	2.6%	0	0.1%			
	19. 他大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0.0%			
	20. 他専門学校	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0.1%	0	0.0%			
	③小計	11	7	18	0	0	0	13	2	15	24	9	33		▲13				
	全体に占める割合	2.4%			0.0%			2.0%			3.2%	1.2%		4.5%		▲1.6%			
合計 (①+②+③)	259	41	300	24	1	25	381	34	415	664	76	740	100.0%	▲10					

小数点第2位四捨五入  
2022年10月現在  
視能訓練士需給計画委員会実施

アンケート調査に対して回答があった養成校数は、大学は8校、短期大学は1校、専門学校17校、合計では昨年度と同数の26校（アンケート回収率96.3%）から回答を得ました。

回答が得られた養成校の全学生数は、女性は前年より17名増の664名（89.7%）、男性は27名減の76名（10.3%）の計740名でした（昨年の結果より10名減）。

大学からの回答は1校減で人数は25名減でした。専門学校は回答が昨年より1校増で人数は12名増でした。前年と同様に専門学校の卒業生数が増加した結果となりました。

## 今回の調査結果について

### 1. 施設区分

施設区分では、「国公立系医療機関」の全体に占める割合は2018年（10.3%）、2019年（12.9%）と2年連続増加しました。昨年度は減少（9.6%）に転じました。今年度は再び増加し1.8ポイント増の11.4%になりました。「私立系医療機関」の全体に占める割合は2018年、2019年と2年連続減少後、昨年度は0.3ポイント増となりましたが、今回は再び0.1ポイント減少に転じ84.2%、「その他」の全体に占める割合も前年は3.0ポイント増6.1%でしたが今回は1.6ポイント減少の4.5%でした。今回の調査結果はここ数年の動向と同様の結果となりました。

### 2. 就職先区分

就職先区分では、「国公立系医療機関」の就職先区分では目立った変化はありませんでした。「私立系医療機関」の「私立病院」のみが1.2ポイント増、「その他」の「医療関係以外の職業」は1.2ポイント減でした。それ以外には目立った変化はありませんでした。

### 3. まとめ

2018年、2019年と国公立系医療機関が増加、私立系医療機関とその他は減少の傾向が続いていましたが、昨年度の調査結果は「眼科診療所」が大幅に増加し、その他の医療機関は軒並み減少していました。今回の調査結果は「国公立系」は増加、「私立系」微減でした。「その他」は多くの項目が減少傾向にあり、医療機関に就職する学生が多くなっていることが示唆されました。

高校生の減少が年々進んでいくことが危惧されている現在、新卒者を安定して輩出するためには入学者を確保していくことが必要となります。そのためにも会員の皆様には視能訓練士の知名度向上のためにご尽力いただきたくお願い申し上げます。

今年卒業し、有資格者となられた皆さん国家試験合格おめでとうございます。需給計画委員会では今後も調査を続け、更なる視能訓練士の需要拡大を目指していきます。今後とも、皆様のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

視能訓練士需給計画委員会